

選挙出前授業モデル



2018年3月

はじめに

現在行われている選挙出前授業は、投票方法や選挙制度についての講義、もしくは講義と模擬選挙を行うという構成が一般的です。模擬選挙のテーマについては、好きな給食やキャラクターを選択するというものから、架空の候補者が掲げる政策を選択するもの等があります。

こうした選挙制度や投票制度に関する講義や、何かを選んで投票を体験する模擬選挙は、選挙に対する意識の醸成のきっかけや選挙の予行練習としては有効な方法であるものの、主権者として継続的に選挙に、政治に参加するようになるには、民主主義社会や選挙の意義について自ら考え、話し合うことも必要であろうと考えます。

近年、全国各地で選挙管理委員会による選挙出前授業が行われていますが、18歳選挙権の実現以降、校種問わず要望が急増している状況にあります。しかし、選管職員だけでの実施には限りがあること、特に選挙期間前後での対応は困難であること等が、平成29年3月の「主権者教育の推進に関する有識者会議とりまとめ」によって明らかとなりました。

また、とりまとめでは、「大学生が高校以下の学校に出向いて実施する出前授業は、受ける側、教える側の双方の学びにつながる取組である」ともしています。

全国で活動する若者啓発グループのメンバーが、選管職員だけでは対応しきれない選挙出前授業を補助・代行できるようにするため、また、メンバー自身の学びや若者啓発グループの活動を支援するため、選挙出前授業の実施を容易にする授業モデルを作成しました。

今回、社会や政治についての情報はメディアを介して獲得することから、メディアリテラシーの要素を含んだ授業モデルA案、生徒同士がコミュニケーションにより「選挙と社会」について考えていく授業モデルB案の2案を作成しました。あくまで授業モデルとして作成していますので、実施する団体が実施校に合わせてアレンジしながらご活用いただけたら幸いです。

なお、作成にあたりましては、若者選挙ネットワークの山田凧紗さん（ネットワーク代表、イコットプロジェクト）、小栗優貴さん（ネットワーク副代表、岐阜県若者の選挙意識を高める会）、山田真珠さん（ネットワーク役員、イコットプロジェクト）、三浦監土さん（ネットワーク役員、Vote at chou!!）、笹俣友杜さん（岐阜県若者の選挙意識を高める会）にご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

平成30年3月

目次

A案「社会問題を通じてメディアについて考えよう！」…………… 1頁

B案「選挙によって作られる社会について探究しよう！」…………… 20頁

出前授業モデルA案

授業名：社会問題を通じてメディアについて考えよう！

1. 授業の目標

この出前授業の目標は、社会や政治に対してのイメージを見つめ直し、メディアを通して情報を獲得する流れを認識させることである。

2. 授業での教育方法

授業は、事前準備（題材の資料準備）と5つの手順で行う。

事前準備：ある特定の社会問題について、異なった立場や視点で報道された資料を複数用意する。

- (1) ワークを行い、生徒たちの社会・政治に関する捉え方を把握する。
- (2) メディアの種類とその性質を考える。
- (3) 設定した社会問題に触れる。
- (4) 設定した社会問題に関する2つの新聞記事を比較する。
- (5) 再度、(1)で行ったワークを行い、社会・政治に関する捉え方が変化したのかを確認する。

3. 授業の対象

授業対象は、中学3年生を基本とするが、その学年に限らず行える授業となっている。

4. 授業者の必要人数

授業は基本1名で行うことが出来るが、生徒のワーク補助として、さらに2～3名いるとよい。

5. 本時の教育内容

本授業モデルでは、題材の社会問題として「イルカ問題」を扱う。

6. 題材の選定

授業で用いる題材は、生徒の興味関心に沿うよう事前にアンケート調査を行って設定する方法や、学校と相談して設定するやり方もある。ただし、新聞記事などの媒体を集められるかを検討し決定する必要がある。新聞記事の検索にあたっては、ウェブ上で新聞記事を検索できるサイトや、学校や図書館等の記事検索サービスを用いるとよい。

なお、本授業モデルは、新聞を用いたが、その他様々なメディアに代替することで授業のバリエーションを増やすことが可能と考える。

<考えられる題材の例>

- ①初めから政治に関係すると考えられる授業題材
 - ・消費税 ・憲法改正 ・TPP ・社会保障 ・待機児童 等
- ②授業を通じて政治に関係するかもと考えられる授業題材
 - ・オリンピック ・イルカ問題など

※その他、実施する地域の特色に応じた題材でもよい

7. 指導案(題材は、あくまで本授業モデルとしてのもの)

時間配分	学習活動 (*は予想される生徒の反応)	資料・留意点
①5分 (25分)	①自己紹介をする。 —出前授業者全員による自己紹介。 (—100分授業の場合は、アイスブレイクを兼ねたゲームを行う)	
②5分 (5分)	②ワーク「Was ist politik?」を行う。 —ワークシートを配り、①の政治に関係すると思う単語に <u>黒ペン</u> で丸を付けさせる。 —丸を付けた単語を発表させる。 *私は「法律」に丸を付けました。なぜなら、法律は国会でつくられるから、これは政治に関係すると思います。	<ワークシート> ・タイマー等で、時間管理を行う。 ・後で再度行うので、黒ペンで丸を付けさせる。 ・発表後に教室レイアウトを6人班に変更する。
③5分 (15分)	③ワーク「メディアの種類を考えよう」を行う。 —ワークシート②に、身の回りにあるメディアの種類とそれぞれのメリットとデメリットを記入させる。 —記入したメディアやメリットデメリットを発表させる。 *メディアの種類は「新聞」で、メリットは「色々な情報が載っていること」、デメリットは「古紙回収に出すのが面倒なこと」です。	<ワークシート> ・手が止まっている生徒がいたら、フォローする。
④5分 (5分)	④「イルカ問題を知ろう」を行う。 —題材となる社会問題の背景や実態等の概要を説明する。 —この問題についてどう感じたか、数名に発表させる。 *イルカって食べられるんだ。 *イルカを食べるのはかわいそうだと思う。	・意見の誘導をしないよう事実のみを説明する。
⑤15分 (30分)	⑤ワーク「新聞記事を読みましょう」を行う。 —用意した2社の新聞記事を比較し、ワークシート③にまとめる。 —はじめは個人で行い、進み具合を見てグループで行う。 —生徒に発表してもらいながら、全員でワークの確認をする。 *私たちは見出しを比較しました。A社の見出しは否定的な感じがしたけど、B社は違った視点で書いているように感じました。	<ワークシート> ・手が止まっている生徒がいたら、フォローする。 ・発表後に教室レイアウトを元の形に変更する。
⑥5分 (5分)	⑥メディアリテラシーの説明を行う。 —新聞以外のメディアにも触れながらメディアリテラシーについて説明する。	
⑦5分 (5分)	⑦上記②で行ったワーク「Was ist politik?」を再度行う。 —ワークシート①の政治に関係すると思う単語に、今度は <u>色ペン</u> で丸を付ける。 —丸を付けた単語を発表させる。 *私は「観光」に丸を付けました。今日の授業を通じて政治に関係すると思ったからです。	<ワークシート> ・最初に行った時から丸が増えたかを意識させる。
⑧5分 (10分)	⑧授業のまとめと振り返りを行う。 —授業全体のまとめを行う。 —ワークシート④に分かったことと感想を記入させる。 —生徒に発表してもらう。 *私たちの身の回りには、政治と繋がるものが多くあり、政治が身近な存在であるとわかった。 *色々なメディアを通じて情報を獲得する必要がある。また、獲得したものは鵜呑みにせず、自分の中で整理する事が大切だと感じた。	<ワークシート> ・授業を受ける前と後でどのような心境の変化があったのかなどについて書くように支援する。

※()は100分授業での時間配分。増加分は①はアイスブレイク、③⑤⑧はワークに充てる。

8. 指導細案

指導案上の過程/実際の授業の様子	PPT・予想される生徒の反応	資料・留意点・大きな流れ
<p>①自己紹介をする。</p> <p>-出前授業者（若者選挙ネットワーク）による自己紹介</p>  <p>(※100分授業の場合)</p> <p>-ゲーム（利害調整や政治を考えるきっかけになるもの）を行う。</p> 	<p>自己紹介タイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶○○ ○○ (○○大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業者だけでなく、授業に携わるメンバーが前に集合する。 <div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>自己紹介</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・全体コーディネート以外、前からはける。 <p>※100分授業の場合はアイスブレイクを兼ねてゲームを行う</p>
<p>②ワーク「Was ist politik?」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワークシート①の政治に関係すると思う単語に黒ペンで丸を付けさせる。 - 丸を付けた単語を発表させる。  <p>-生徒に発表してもらう。</p> 	<p>Was ist politik?</p> <p>▶政治、選挙に関係あると思うワードに印を付けよう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①を使用 ・ワークは2度行うので黒ペンで丸を付ける。 ・何名かに発表してもらう。 <div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>ワーク①実施</p> </div>
	<p>① Was ist politik? 政治に関係すると思う単語に丸をつけよう!</p> <p>選挙運動 電力 憲法 イヌ 車 失業 新聞 休日 歴史 平和 遊び場 幼稚園 交通機関 観光 ストライキ 職場 18歳 児童労働 ネコ 家族 テレビ イルカ ビール 山の日 農業 経済成長 道路 タバコ税 特区 保険 成人年齢 教育 オリンピック 原油価格 法律 学校 メディア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は「法律」に丸を付けました。なぜなら、法律は国会でつくられるから、これは政治に関係すると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク「メディアの種類を考えよう」に移る前に教室のレイアウトを6人グループに変更する。 <div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>教室レイアウト変更</p> </div>

③ワーク「メディアの種類を考えよう」を行う。

- ワークシート②に、身の回りにあるメディアの種類とそれぞれのメリットとデメリットを記入させる。
- 記入したメディアやメリットデメリットを発表させる。



④「イルカ問題を知ろう」を行う。

- 題材となる社会問題の背景や実態等の概要を説明する。
- この問題についてどう感じたか、数名に発表させる。



⑤ ワーク「新聞記事を読んでみよう」を行う。

- 用意した2社の新聞記事と比較し、ワークシート③にまとめる。
- はじめは個人で行い、進み具合を見てグループで行う。
- 生徒に発表してもらいながら、全員でワークの確認をする。



Step②
「メディアの種類を考えよう」

メディア名	メリット	デメリット
新聞	内容は正しい、深説が読める	お金がかかる、読みにくい、はるばる
テレビ	色々な事を知ることができる	本質が分からぬ
書籍	信頼性、知識が身に付く	情報が古い、入手しにくい
SNS	受け身、楽	過激な主張がある、信頼性がない
インターネット (PC, スマホ)	情報量が多く、早い、どこでも	誤りが大々、信頼性がない

・メディアの種類は「新聞」で、メリットは「色々な情報が載っていること」、デメリットは「古紙回収に出すのが面倒なこと」です。

・イルカって食べられるんだ。
・イルカを食べるのはかわいそうだと思う。

	A社	B社
1 見出しを比較しよう	新聞の見出し	新聞の見出し
2 キーワードを抜き出そう	新聞の見出し	新聞の見出し
3 読者の気持ちに気づかせる	本誌からの見出し	どう感じたか・印象など
4 それぞれの見出しを比較しよう		
5 全体を通して気づいたこと	どう感じたか・印象など	

1～4) A社・B社の比較を行う。
上段：新聞のキーワードを抜き出す。
下段：どう感じたか、印象を書く。

5) 全体を読んでA社、B社の違い
下段：各社を読んでどう感じたか。
上段：なぜそう思ったのか、きっかけとなったキーワードを新聞から抜き出す。

・私たちは見出しを比較しました。
A社の見出しは否定的な感じがしたけど、B社は違った視点で書いているように感じました。

- ・ワークシート②を使用
- ・手が止まっている生徒がいたら、フォローに入る。
- ・何名かに発表してもらう。

ワーク②実施

- ・スライドを用いて説明すると分かりやすい。

イルカ問題の説明

- ・ワークシート③を使用
- ・手が止まっている生徒がいたら、フォローに入る。
- ・何名かに発表してもらう。

ワーク③実施

⑥ メディアリテラシーの説明を行う。
—新聞以外のメディアにも触れながらメディアリテラシーについて説明する。

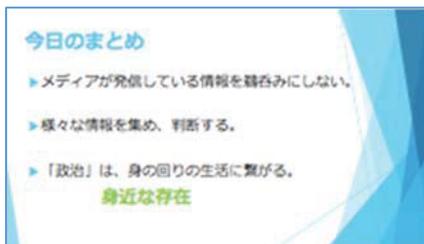
⑦ ②で行ったワーク「Was ist politik?」を再度行う。
-ワークシート①の政治に関すると思う単語に、今度は色ペンで丸を付ける。
-丸を付けた単語を発表させる。



⑧ 授業のまとめとワークシート④の記入を行う。
-授業全体のまとめを行う。
-ワークシート④に分かったことと感想を記入させる。
-生徒に発表してもらう。



・私は「観光」に丸を付けました。今日の授業を通じてこれも政治に関係すると思ったからです。



・私たちの身の回りには、政治と繋がるものが多くあり、政治が身近な存在であるとわかった。
・色々なメディアを通じて情報を獲得する必要がある。また、獲得したものは鵜呑みにせず、自分の中で整理する事が大切だと感じた。

・ワーク「新聞記事を読んでみよう」が終わったら、教室のレイアウトを6人グループから元の形に変更する。

教室レイアウト変更

・ワークシート①を再使用
・政治に関係すると思う単語に丸を付ける。
・何名かに発表してもらう。

ワーク①再実施

・ワークシート④を使用
・授業を受ける前と後でどのような心境の変化があったのかなどについて書くように支援する。
・何名かに発表してもらう。

ワーク④実施

・プリント回収

9. 授業上の注意点

- ・説明する時間、ワークをさせる時間など、メリハリをつけた授業を心がける。
- ・授業時間を守るため、タイマーを使って時間管理を行い、生徒が考える時間を確保する。
- ・パワーポイントを用いて進行する授業なので、機材接続の確認を事前にしっかり行う。
もしトラブルでPCやプロジェクターが使えなくなった時でも対応できるよう、黒板を使う等の準備も行うとよい。

【ワークシート例】

社会問題を通してメディアについて考えよう！

年 組 氏名

① Was ist politik? 政治に関係すると思う単語に丸をつけよう！

選挙運動 電力 憲法 イヌ 車 失業
新聞 休日 歴史 平和 遊び場
幼稚園 交通機関 観光 ストライキ
職場 18歳 児童労働 ネコ 家族
テレビ イルカ ビール 山の日 農業
経済成長 道路 タバコ税 特区 保険
成人年齢 教育 オリンピック
原油価格 法律 学校 メディア

② メディアの種類を考えよう

メディア名	メリット	デメリット

③ 新聞記事を読んでもみよう 記事には何が書いてあった？

	A社	B社
例 1	和歌山の漁師	太地町漁協
	和歌山県の話	太地町の話
2		
3		
4		
5		

④ 授業を受けて分かったことや感想

【所属団体名】による出前授業

@〇〇中学校 3年〇組



【所属団体名】とは？

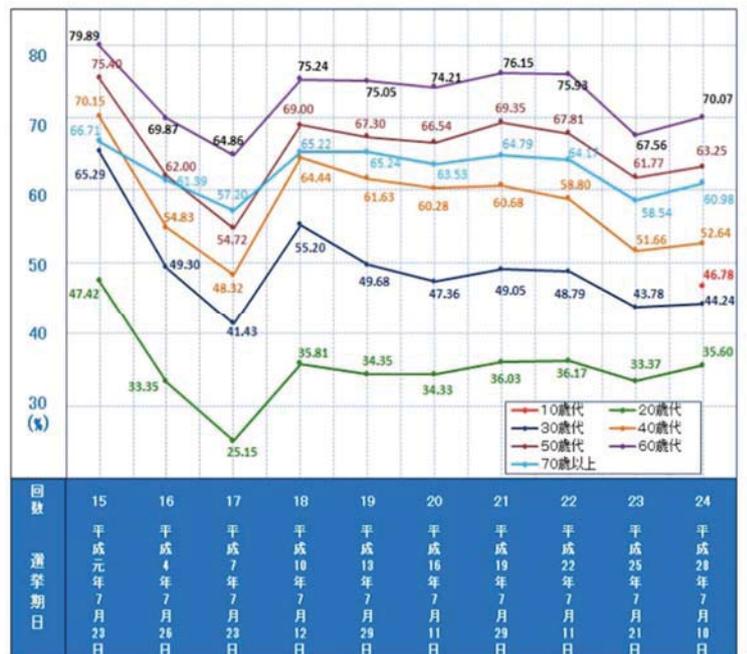
- ▶ 〇〇にある選挙啓発を行う学生グループです
- ▶ こんな活動をやっています
 - ○○○○
 - ○○○○
 - ○○○○

自己紹介タイム

- ▶ ○○ ○○ (○○大学)

全体：54.70%
 一番高い60代と一番低い20代の
 投票率の差は、なんと34.47%

参議院議員通常選挙年代別投票率の推移



出典：明るい選挙推進協会HP

Step① Was ist politik?

- ▶ 政治に関係あると思うワード
を**黒色**で丸をつけよう！



Step② 「メディアの種類を考えよう」

メディア名	メリット	デメリット
書籍	信頼性が、 知識が身に付く	情報が古い、 入手しにくい
新聞	内容は濃い、 論調が掴める	お金かかる、読みにくい
テレビ	色んな事やっている	本質が分からない
SNS	受け身、気軽	過激な主張がある 信憑性がない
インターネット (PC,スマホ)	情報量が多く、早い 広めやすい	選出が大事、 信憑性がない



新聞を使って
イルカ問題について
考えてみよう！

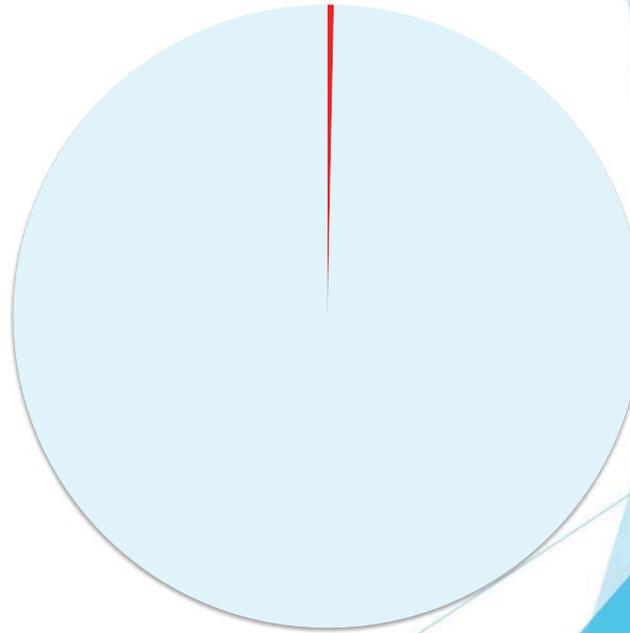
Step③ 「イルカ問題を知ろう」



人口

▶ 太地町の人口
約 3 4 0 0 人

▶ 和歌山県の人口
約 1 0 2 万人



■ 太地町
■ 和歌山県



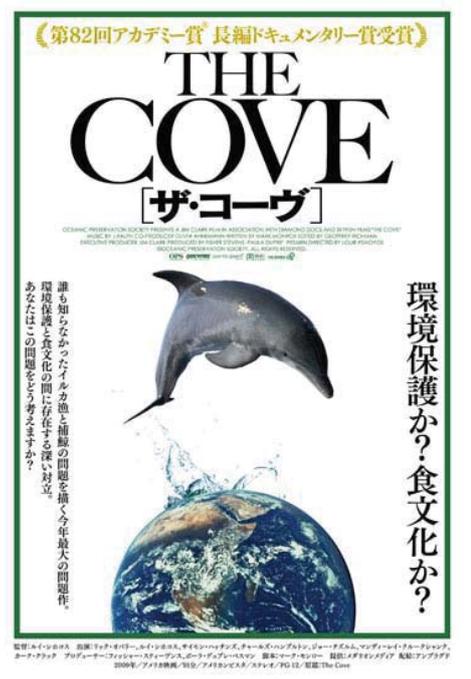
用途

- ・ 食用
- ・ 水族館用

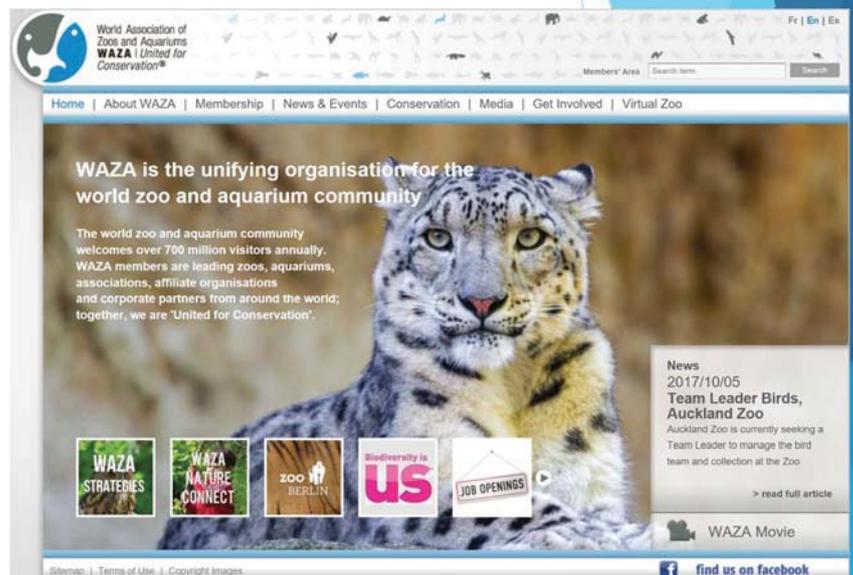
- ▶ イルカを食べるのは可哀そう
- ▶ イルカ漁は非人道的だ



批判を受けている



日本は、
世界水族館協会
(WAZA)
から**脱退勧告**を受ける



日本動物園水族館協会 (JAZA)

WAZA脱退？ or 残留？

投票の結果、**残留**決定



結果を受けて
太地町の漁協は、会見を開きました

これから会見について書かれた
新聞記事を2社分読み、比較してみよう！

Step④ 「記事比較をしよう」

	A社	B社
1	本文からの抜き出し 和歌山の漁師	本文からの抜き出し 太地町漁協
	どう感じたか・印象など 和歌山県内の話	どう感じたか・印象など 太地町の話

ワークにそって、
続きをやってみよう！



	A社	B社
例	和歌山の漁師	太地町漁協
1	和歌山県の話	太地町の話
2	本文からの抜き出し	
	どう感じたか・印象など	
3		
4		
5	② そう感じたきっかけのキーワードの記事から拾おう	
		① どんな記事に感じた？

小見出しを比べよう

タイトルを比べよう

映像に関する内容

それぞれにしか
書いていない内容

全体を通して
伝えたいこと

「(米) ケネディ大使のtweet」



キャロライン・ケネディ大使
Twitterで「イルカ漁反対」
と投稿。

菅義偉官房長官は、
「イルカ漁は、わが国の伝統
的な漁業の一つである。米側
に日本の立場を説明していき
たい。」と**会見**を行った。



Step⑤ Was ist politik?

▶ 政治に関係あると思うワードを
色ペンで丸をつけよう！

▶ 1回目との違いはあるかな？



今日のまとめ

- ▶ メディアが発信している情報を鵜呑みにしない。
- ▶ 様々な情報を集め、判断する。
- ▶ 「政治」は、身の回りの生活に繋がる。

身近な存在

ありがとうございました



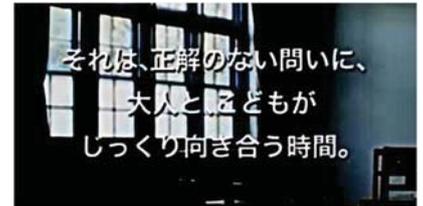
出前授業モデルB案

授業名：選挙によって作られる社会について探究しよう！



1. 授業の目標

この出前授業の目標は、「選挙と社会」について探究することである。つまり、出前授業者と共に、「選挙と社会」について、皆で問い、話し、考えることができることである。



2. 授業での教育方法

目標を達成するためにP4C（=子どものための哲学：philosophy for childrenの略）という対話を用いた教育手法を行う。P4Cとは、決まった正解が無い事柄について、生徒同士で対話を行い、考えを深めていくもの。本授業モデルでは、対話を行う前に題材を与え、以下の流れで授業を行う。

- (1) 題材となる資料を与え、対話の準備をする。
- (2) (1) をもとに現在の「選挙と社会」について対話を行う。
- (3) 対話を振り返る。

3. 授業の対象

授業対象は、中学3年生とする。

4. 授業者の必要人数

冒頭の説明を行う1名を含めて、対話のファシリテーターが5名程度(※)

※40人学級の場合、生徒8人×5班で、各班に1名配置。

5. 本時の教育内容

本授業において探究する上でのメインとなる問い（内容）は、各グループでの話し合いの中で設定する。予想として以下の問いが考えられる。

<内容となる問い（想定）>

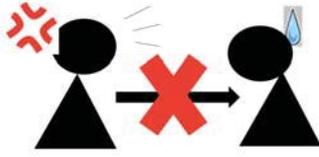
- ・シルバーデモクラシーは、起きているのか。
- ・なぜ投票しないとイケないか。
- ・現在の選挙は、社会を作る上で適切か。
- ・低投票率はなぜ起きるのか。
- ・一票に本当に価値があるのか。
- ・無投票は、何を指すか。

6. 指導案(問いは、生徒によって立てられるため、一例である。)

時間配分	学習活動 (*は予想される生徒の反応)	資料・留意点				
<p>①5分 (5分)</p> <p>②5分 (10分)</p> <p>③10分 (15分)</p> <p>④25分 (60分)</p> <p>⑤5分 (10分)</p>	<p>①自己紹介をする。 —出前授業者全員による自己紹介。</p> <p>②本授業の手法である対話 (P4C) の説明を行う。 —P4Cについての動画、ルールとアドバイスの説明。</p> <p>③対話のための準備を行う。 —ワークシートを配り、気になる資料とその理由を記入させる。 * 資料1が気になる。なぜこんなに投票する人が少ないのだろうか？</p> <p>④対話を行う。 (1) 対話する際に、自己紹介と再度ルールを確認する。 —ファシリテーターの自己紹介、生徒の自己紹介。</p> <p>(2) 発問「気になった資料はどれだろう」「なぜ気になったのだろうか」 —③で記入した内容を発表する。</p> <p>(3) 発問「これから考えていく問い(疑問)を設定しよう」 * なぜこんなに多くの人が棄権するのだろうか？ * 本当に一票入れることに意味があるのだろうか？ * 選挙は、現実社会を作る上で適切な方法なのだろうか？</p> <p>(4) 選んだ問いを探究する。 例：選挙は、現実社会を作る上で最適な方法か？</p> <table border="1" data-bbox="327 1265 1066 1702"> <tr> <td data-bbox="327 1265 683 1512"> <p><最適である></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有権者全員に意見を聞いている。 ・一人に一票が平等に与えられている。 ・自分の願いを反映できる。 </td> <td data-bbox="683 1265 1066 1512"> <p><最適ではない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票した人の意見だけで社会が作られている。 ・候補者が有権者の思いに沿って社会を作るとは限らない。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1512 683 1702"> <p><最適ではないが理想形></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率が少ない選挙で社会が作られているので完全ではないが、これ以上の理想形のものはない。 </td> <td data-bbox="683 1512 1066 1702"> <p><最適ではなく代替案が必要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままでは不完全なので、全員投票にすれば、選挙によって作られる社会は、完璧になる。 </td> </tr> </table>	<p><最適である></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有権者全員に意見を聞いている。 ・一人に一票が平等に与えられている。 ・自分の願いを反映できる。 	<p><最適ではない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票した人の意見だけで社会が作られている。 ・候補者が有権者の思いに沿って社会を作るとは限らない。 	<p><最適ではないが理想形></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率が少ない選挙で社会が作られているので完全ではないが、これ以上の理想形のものはない。 	<p><最適ではなく代替案が必要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままでは不完全なので、全員投票にすれば、選挙によって作られる社会は、完璧になる。 	<p><動画> https://www.youtube.com/watch?v=0b222t_8P34 ・P4Cのルールが対話内で守られるようファシリテーターがマネジメントする。</p> <p><ワークシート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティボール・カードの使い方を確認した後、練習も兼ねて自己紹介を行う。 ・(1)～(3)のテーマに関する時間のマネジメントは、各ファシリテーターが行う ・問いの設定では、各班で挙がった問いをファシリテーターがポストイットにメモをしていき、そのメモの中からどの問いを考えていくかを選ばせる。 ・対話内で、深まりが見られ、立てた問いを深めるための質問にうつつた場合、ファシリテーターは、現在どんな問いを考えているのか整理するためにポストイットに書き直す。 ・対話の終盤では、どのような意見が出たかファシリテーターがまとめる。 ・ワークシートには、生徒自身の最初の意見と対話によって他者から得られた視点も書くように支援する。 ・数名に発表してもらう。
<p><最適である></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有権者全員に意見を聞いている。 ・一人に一票が平等に与えられている。 ・自分の願いを反映できる。 	<p><最適ではない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票した人の意見だけで社会が作られている。 ・候補者が有権者の思いに沿って社会を作るとは限らない。 					
<p><最適ではないが理想形></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率が少ない選挙で社会が作られているので完全ではないが、これ以上の理想形のものはない。 	<p><最適ではなく代替案が必要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままでは不完全なので、全員投票にすれば、選挙によって作られる社会は、完璧になる。 					

※ () は授業が100分の場合の時間配分。主に④の対話の時間に充てる。

7. 指導細案

指導案上の過程/実際の授業の様子	PPT・予想される生徒の反応	資料・留意点・大きな流れ
<p>①自己紹介をする。</p> <p>-出前授業者（若者選挙ネットワーク）による自己紹介。</p>  <p>-授業の目標を述べる。</p> <p>（例）今日は、みんなと一緒に「選挙と社会」について考える時間になりたいと思います。その時にはP4Cという対話の手法を使って、問い、話し、考えていきたいと思います。</p>	<p>PPT・予想される生徒の反応</p> <div data-bbox="630 309 1021 571"> <p>授業を始めます！</p> <p>-【所属団体名】による出前授業-</p> <p>@〇〇中学校 3年〇組</p>  </div> <div data-bbox="630 582 1021 795"> <p>-本日授業を共に行うメンバー-</p> <p>（所属団体名）</p> <p>〇〇 〇〇（〇〇大学）</p> <p>〇〇 〇〇（〇〇大学）</p> <p>〇〇 〇〇（〇〇大学）</p> <p>〇〇 〇〇（〇〇大学）</p> <p>〇〇 〇〇（〇〇大学）</p> </div> <div data-bbox="630 806 1021 1008"> <p>P4C !?</p> <p>を使って</p> <p>「問い、話し、考えよう！」</p> </div>	<p>資料・留意点・大きな流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターを含め授業メンバー全員が前に出る。 <div data-bbox="1117 459 1428 548" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自己紹介</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・全体コーディネート以外、前からはける。 <div data-bbox="1117 828 1428 918" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center;"> <p>対話(P4C)の説明</p> </div>
<p>②対話（P4C）の説明を行う。</p> <p>-対話のやり方の動画を見せる。</p>  <p>-ルールとアドバイスを述べる。</p> 	<p>P4C=子ども哲学</p>  <div data-bbox="630 1299 1037 1512"> <p>ルール1 コミュニティーボールを 持っている人が話そう！</p>  </div> <div data-bbox="630 1523 1037 1736"> <p>ルール2 みんなが話せるように コミュニティーボールを回そう！</p>  </div> <div data-bbox="630 1747 1037 1960"> <p>ルール3 人の意見は完全否定しない！</p>  </div>	<div data-bbox="1117 1052 1428 1142" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center;"> <p>対話(P4C)の動画視聴</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間が多く取れる場合は全てを見せる。 <p>https://www.youtube.com/watch?v=0b222t_8P34</p> <div data-bbox="1117 1388 1428 1534" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; text-align: center;"> <p>対話のルール3つ 説明</p> </div>

③対話の準備を行う。

-ワークシート「対話の準備をしよう」を取り組ませる。



-教室レイアウトの変更を行う。



④テーマをもとに対話を行う。

(1) 対話が始める際に、再度自己紹介とルールを確認する。



アドバイス グループに1つある対話を
深めるためのカードを使おう！



ワークシートにある「資料」の中で気になる資料の番号を右上に書こう。
また気になる理由を書いてみよう。

1.各班机一つ残して、全て後ろへ移動しよう(イスは残す)
2.プリントの右上に青字で、班分けがされています。その班のところへ椅子を持って移動しよう！
3.書いたプリントは持って移動しよう！筆記用具は置いていこう！

それでは、P4Cをやってみよう！

・私は〇〇って言います。よろしくお願ひします。
・僕の名前は〇〇です。よろしくお願ひします。

対話でのアドバイス

対話のための準備

教室レイアウト変更の指示

・ファシリテーターは、カード、ポストイットの束、マジックペン、コミュニティーボール、ダブルクリップの5点を自身の班に用意する。

対話のルール 再度説明

・ここでボールはどんな順に回しても良いことパスしても良いことを伝える。

対話内自己紹介

・コミュニティーボールやカードを使いながら自己紹介する。
・ボールは練習の意味を込めて、1回1回ファシリテーターに戻すようにする。

(2)「気になった資料はどれだろう」
「なぜ気になったのだろう」



(3)「これから考えていく問いを設定しよう」



-問いが出たら、投票を行う。

(4)選んだ問いを探究する。
例) 選挙は、現実社会を作る上で最適な方法か？



-教室レイアウトの変更を行う。



・資料1が気になった。選挙に行った少数の人の意見だけで色々と決まってしまうのかなと思った。

- ・何でこんなに多くの方が選挙に行かないのか疑問に思った。
- ・選挙に行かなければならない理由は何かな。
- ・選挙でつくられる社会っていうのは、本当に良い社会なのだろうか。
- ・「選挙でつくられる社会っていうのは、本当に良い社会なのだろうか」が一番多いね。これを考えてみよう。

対話の進め方は、
p.28-29 を参照。

気になった資料とそ
の理由の発表

みんなで考える疑問
(問い)を出し、選ぶ

・決定した問いをポストイットに記入しダブルクリップを使って立てる。

問いの答えを
考えて、対話する。

対話を深めるために、問いを変更することもできる。変更した場合は現在どんな問いを考えているのか分かりやすくするためにポストイットに問いを記入する。書いたポストイットをダブルクリップにとめみんなに見せる。

教室レイアウト変更

・ファシリテーターは、自身の班にあるカード、ポストイットの束、マジックペン、コミュニティーボール、ダブルクリップの5点を回収する。

⑤対話の振り返りを行う。



-数人に発表してもらう。

-授業を終える。

(例) みんなも引き続き社会と選挙について考えて行ってほしいと思います。

「選挙」について話してみたいかがでしたか。

5分間で振り返りのワークシートを書いてみよう。

形式に書き換えてください

氏名 番号 性別

振り返りシート

質問	回答
1. 選挙について話してみたいかがでしたか。	
2. 選挙について話してみたいかがでしたか。	
3. 選挙について話してみたいかがでしたか。	
4. 選挙について話してみたいかがでしたか。	
5. 選挙について話してみたいかがでしたか。	

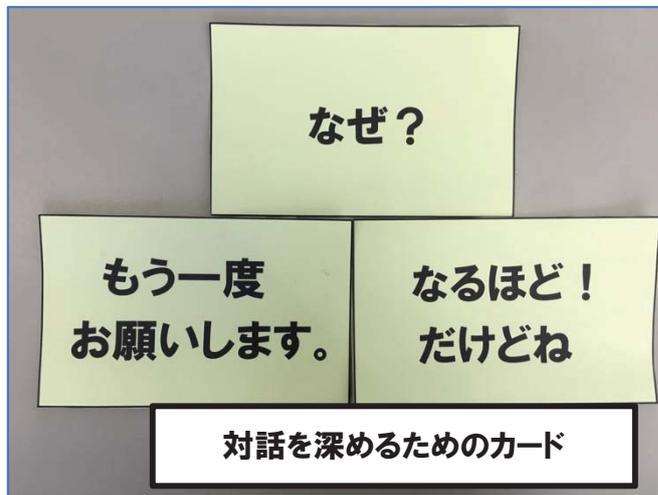
※記入の際は、必ず氏名、番号、性別を記入してください。

(ワークシート記入)

ありがとうございました！
【所属団体名】による出前授業
を終わります。

・プリント回収

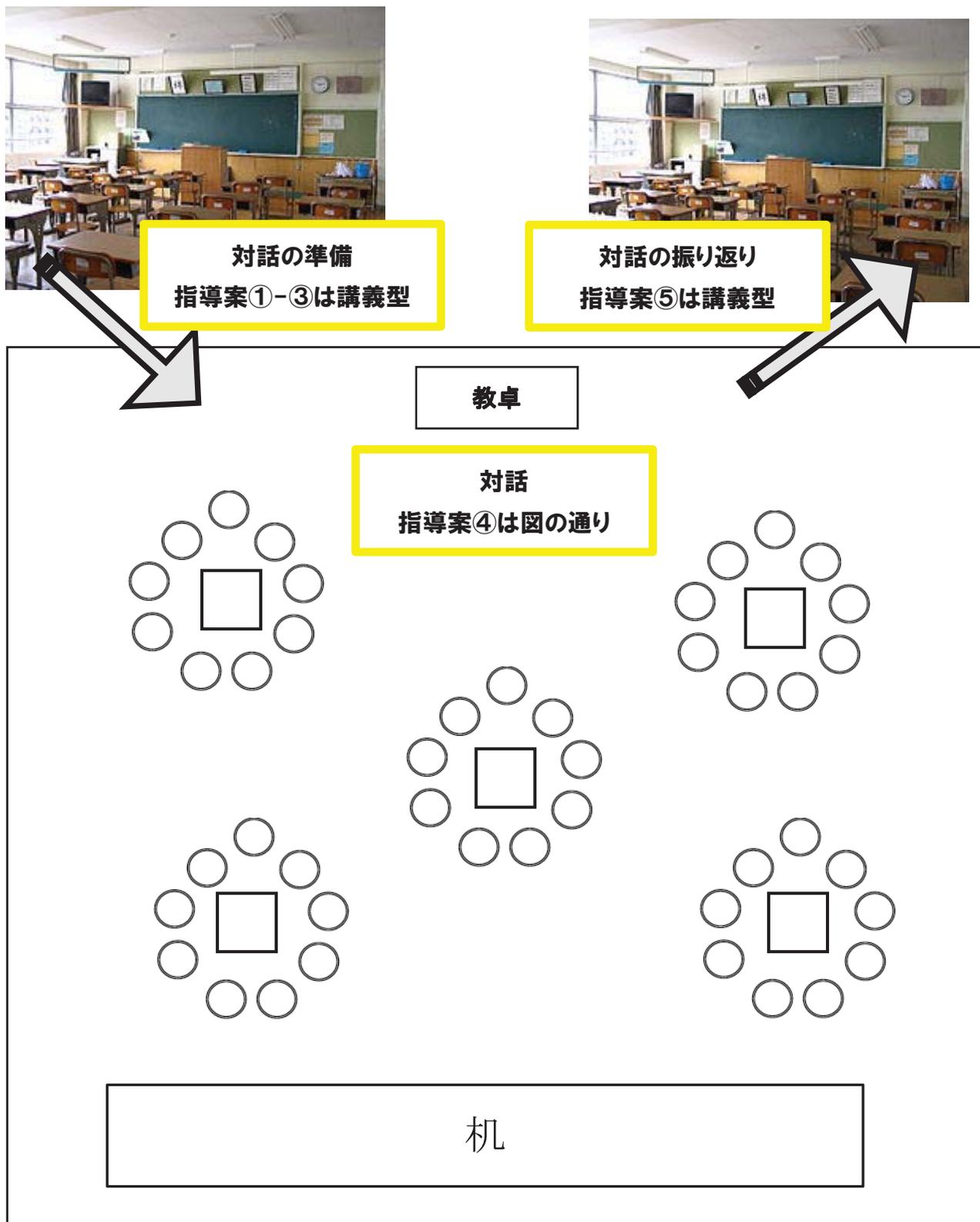
8. 授業に際し準備するもの



その他

- ・ワークシート(2ページともA3用紙1枚に印刷するとよい)
- ・パワーポイント
- ・ポストイット、ダブルクリップ、ペン(対話の際に出た「問い」をメモし、今どんな「問い」に対して話をしているのかをわからせるため)

9. 教室レイアウト



- ・対話の際は、机は後ろに下げ、各班で人数分の椅子と机を1つ用意する。
- ・1班は、なるべく生徒5～8人+出前授業者（大学生）1人とする。
- ・初めからこのようなレイアウトにしておくやり方でも可能。
- ・学校に応じて、円形のテーブルや絨毯（床）に座って行う形式でも良い。

10. 対話の進め方の例（〇〇は出前授業者）

①. 対話のスタート例

〇〇：みなさんこんにちは。

生徒：こんにちは。

〇〇：（所属）の〇〇と言います。さっき対話のルールを3つとアドバイスを1つ言いましたがもう一度確認してみましょう。ルール1つ目です。必ずコミュニティーボールを持っている人が話しましょう。もし話したくなったら「ちょうだい」とコミュニティーボールを呼びましょう。コミュニティーボールを受け取っても、「今意見を言えないよ」という人はパスすることもできます。これがルールの1つ目です。ルール2つ目です。コミュニティーボールは、みんなに回るようにしましょう。誰か特定の人だけに回らないように気を付けましょう。ルールの3つ目です。対話をやっていく中で、他人の意見を全否定することはやめましょう。続いてアドバイスです。ここに3種類のカードを用意しました。1つ目は、理由を聞く時の「なぜ？」です。理由を尋ねたい時にこのカードをあげてみましょう。2つ目は、聞こえなかった時にいう「もう一度お願いします」カードです。3つ目は、反対の意見を言う時に使う「なるほど！だけども…」カードです。相手とは異なる意見を言う時に使ってみましょう。それでは、「選挙と社会」について考えていく前に、ボールを使いながら簡単に自己紹介をしてみましょう。

生徒：（生徒自己紹介）※対話をスムーズにするため、自己紹介の際に名前をメモしておくこと。

〇〇：自己紹介してくれてありがとう。

〇〇：さて、さっきみんなプリントにどんな資料が気になったかを書いてくれたと思います。資料からみんなで問いを作っていきたいと思います。何か気になる問いありますか。

②. 話を整理する。 **授業者が使うワード：つまり、ということは**

〇〇：では、一番多かった「選挙の方法に問題がないのか」を考えていきたいと思います。どうでしょう。

生徒：問題あると思う。投票率がこんなに低いんだから、見直すべき所があると思う。

生徒：私もそう思います。投票率が低いのであればみんなで社会を作っているなんて言えないと思います。

〇〇：ありがとう。ということは、少なからずみんな問題あると思っているようだね。

③. 子どもとあえて反対意見を言う。 **授業者が使うワード：確かにそうかもしれないけれど～じゃない？**

生徒：全員で投票するべきだと思います。民主主義なんだから。

〇〇：確かにそうかもしれないけれど、ちゃんと考えている人だけが投票した方が良い社会が生まれるんじゃない？

④. 疑問や更なる深い問いを投げかけてみる。 **授業者が使うワード：～の人もいる？～って本当なの？**

〇〇：今から考える問いは「現在の社会が民主主義を体現していると言えるのか？」にしてみよう。これについて意見あるかな？

生徒：僕は民主主義と言えないと思う。投票率低いし、現在みんなで社会を作っていくなんて無理な状況があると思う。

生徒：私も民主主義と言えないと思う。投票した人が国民の半分以下なのに、さらに聞き入れられている意見は、その半分だから。

〇〇：この問いに対して「民主主義と言える」っていう人いない？

生徒：私は民主主義だと思う。だってみんなの意見を聞いているもん。参加していない人は自分で棄権してるだけだと思う。

授業者が使うワード:じゃあもう一度最初の質問に戻ってみよう。

⑤. 話が途切れた時には、最初の質問に戻ってみる。もしくは時間をおいて生徒に考えさせてみる。

〇〇: みんなが言う1票の価値って何?

生徒: わからない。

生徒: 1票1票に重みがあって、社会が変えられること。

生徒: 自分の意見をみんなに知らせられること。例え自分の意見が少数派であっても、1票入れることでそれを知らせられるっていうことに価値があるんだと思います。

〇〇: 今2種類の意見が出ているかな? 1つは、1票の価値とは、社会が変えられること。もう1つは1票の価値とは、自分の意見が表明できること。じゃあもう一度最初の質問に戻ってみよう。なぜこんなに選挙に行く人が少ないのだろう。

授業者が使うワード:△△さんはどうかな。

⑥. あまり話せてない人には、コミュニティーボールをファシリテーターから回す。

〇〇: 民主主義は多数決なの?

生徒: 結局は多数決なんじゃない? だってたくさん票を集めた人が当選するでしょ?

生徒: いや、多数決ではないと思う。ちゃんと少数派の意見も聞いた上で、政治的決定をするから。

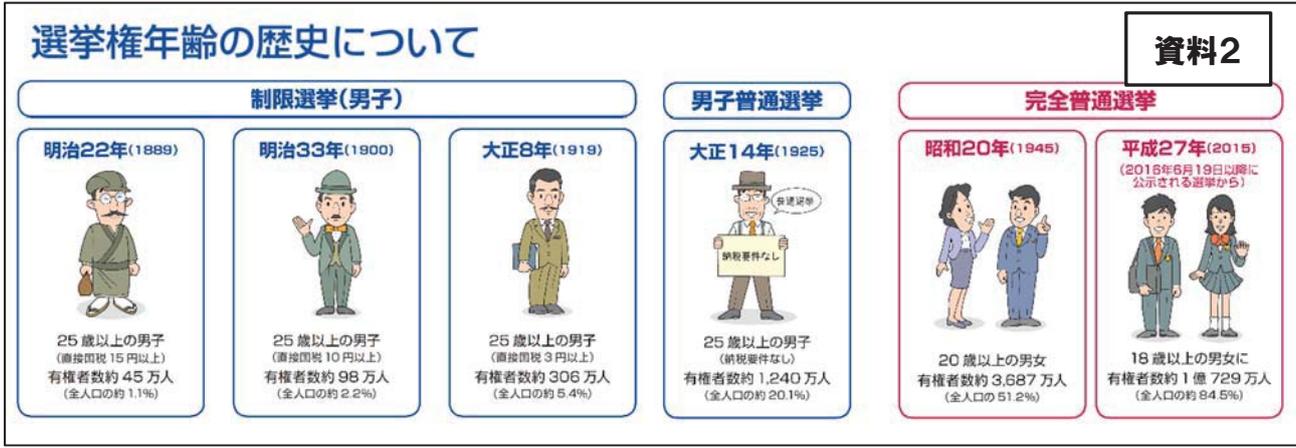
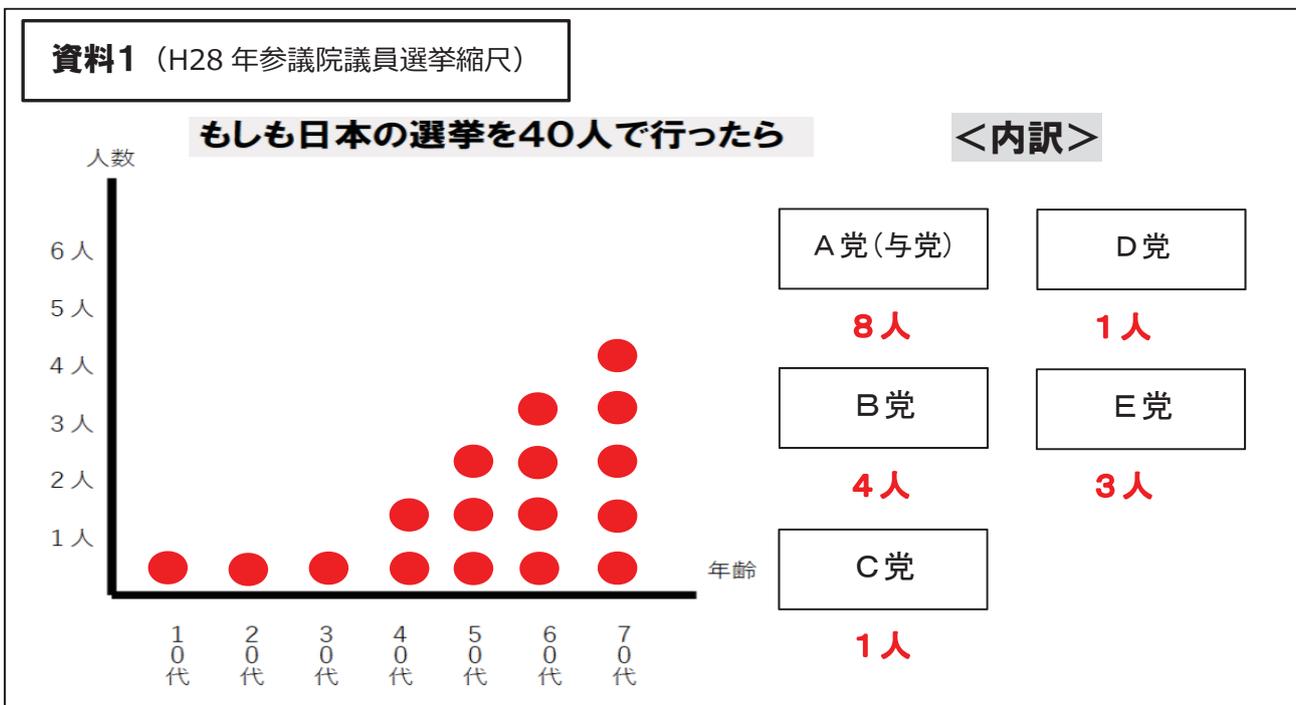
〇〇: じゃあ、△△さんはどうかな?

1.1. 授業を行う上での注意点

- ・P4C用の班分けは事前に行い、割り振った班の番号は当日配布するワークシートに予め記入しておくこと時間の短縮にもなり授業もスムーズに行うことができる。
- ・うまくファシリテートできる自信がない場合は、学校の先生と協働し、先生にフォローに入ってもらいながら対話するという形式も可能。
- ・対話の中では、自分の実体験を話すなど、学校教員とは異なる大学生らしさを意識するとよい。
- ・本授業モデルは、出前授業者が生徒と共に、「選挙と社会」について、皆で問い、話し、考えることができることを目標に設定しているため、必ずしも授業の最後に話し合った内容をまとめる必要はない。

対話の準備をしよう

● 気になる資料はどれだろう。気になる理由は何だろう。右上の枠に書いてみよう。



資料3 民主政治とは、一部の支配者などが決めるのではなく、国民自身が話し合っで決めるという政治のあり方です。今では世界中に広まっていますが、昔は「知識がない人も参加するよくない政治だ」と批判されることもありました。

議会制民主主義

資料4

議会制民主主義は、間接民主主義の一つの形であり、国民が議会における代表者を通じて政治に参加する政治形態です。日本もこの議会制民主主義を採用しており、憲法前文では「正当に選挙された国会における代表者を通じて」と述べられています。

一方で、直接民主主義という政治形態もあります。これは、全国民が直接政治に参加するため、民意をより政治に反映できるという考え方です。

こうした民主主義をめぐる立場の違いは、選挙で代表者を選ぶことで民主主義が成立しているのか、あるいは、政治が常に世論を反映するのが民主主義なのか、と言った「民主主義」の本質に関わる問題とも言えます。

この先、もっと優れた新しい統治スタイルが生まれる可能性もあります。しかしながら、現時点においては、今の民主主義体制が次善の策といえます。

気になった資料番号・気になった理由

資料番号	気になった理由
------	---------

対話を振り返ろう

●以下の項目を自身で評価(丸をつけよう)・反省してみましょう。

評価項目	評価		
	←悪い		良い→
①安心して話すことができましたか。			
②対話は深まりましたか。			

●今日話し合ったこと、テーマに対する自分の考えなどを書いてください。

授業を始めます！

-【 所属団体名 】による出前授業-

@〇〇中学校 3年〇組



【 所属団体名 】とは？

〇〇にある
選挙啓発を行うボランティア団体です

こんなこともやっています

- 〇〇〇〇
- 〇〇〇〇
- 〇〇〇〇

-本日授業を共に行うメンバー-
(所属団体名)

○○ ○○ (○○大学)
○○ ○○ (○○大学)
○○ ○○ (○○大学)
○○ ○○ (○○大学)
○○ ○○ (○○大学)

P4C !?

を使って

「問い、話し、考えよう！」

P4C=子どものための哲学とは

(https://www.youtube.com/watch?v=Ob222t_8P34)



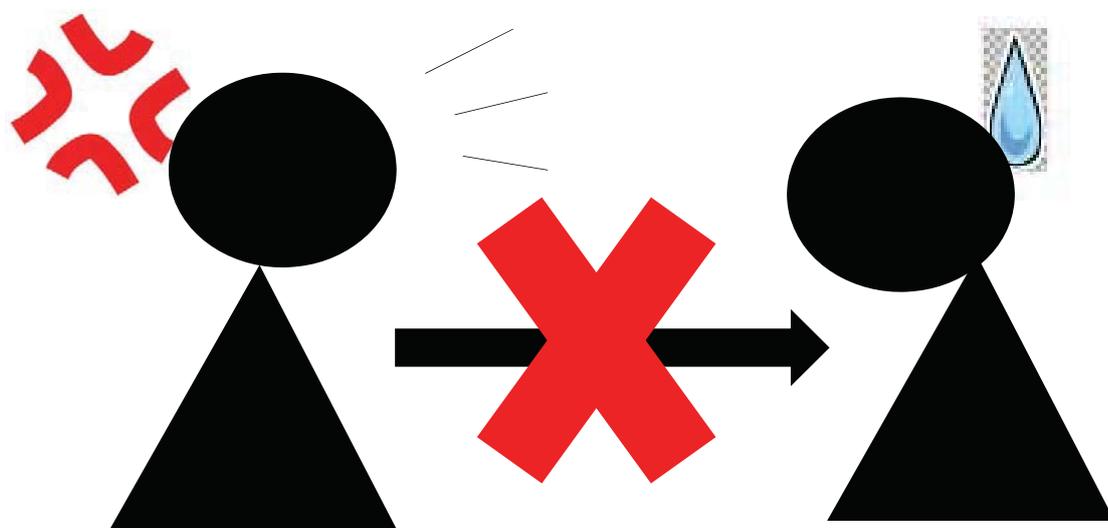
**ルール1 コミュニティーボールを
持っている人が話そう！**



ルール2 みんなが話せるように コミュニティーボールを回そう！



ルール3 人の意見は完全否定しない！



アドバイス グループに1つある対話を 深めるためのカードを使おう！

なぜ？

もう一度お願いします。

なるほど！ だけどね

P4Cの準備をしよう

●気になる資料はどれだろう。気になる理由は何だろう。右上の枠に書いてみよう。

資料1 (H28年参議院議員選挙縮尺)

もしも日本の選挙を40人で行ったら

人数

<内訳>

A党(与党)	D党
8人	1人
B党	E党
4人	3人
C党	
1人	

選挙権年齢の歴史について

資料2

制限選挙(男子)	男子普通選挙	完全普通選挙
明治22年(1889)	大正14年(1925)	昭和20年(1945)
明治33年(1900)		平成27年(2015)
大正8年(1919)		
20歳以上の男子 選挙権約10万人 有権者数約45万人 (選出者約1万人)	20歳以上の男子 選挙権約1,240万人 有権者数約1,240万人 (選出者約30万人)	20歳以上の男女 選挙権約1億2,600万人 有権者数約1億2,600万人 (選出者約300万人)

資料3 民主政治とは、一部の支配者などが決めるのではなく、国民自身が話し合って決めるという政治のあり方です。今では世界中に広まっていますが、昔は「知識がない人も参加するよない政治だ」と批判されることもありました。

議会制民主主義

資料4

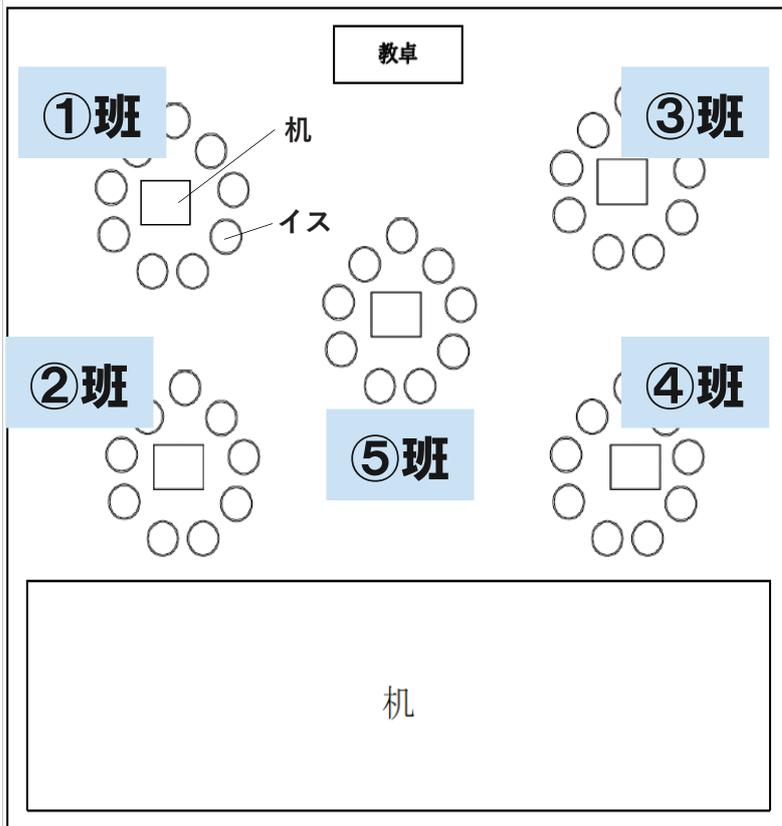
議会制民主主義は、間接民主主義の一つの形であり、国民が議会における代表者を通じて政治に参加する政治形態です。日本もこの議会制民主主義を採用しており、憲法前文では「正当に選挙された国会における代表者を通じて」と述べられています。

一方で、直接民主主義という政治形態もあります。これは、全国民が直接政治に参加するため、民意をより政治に反映できるという考えです。こうした民主主義をめぐる立場の違いは、選挙で代表者を選ぶことで民主主義が成立しているのか、あるいは、政治が常に世論を反映するのが民主主義なのか、と高次「民主主義」の本質に関する問題とも言えます。

この先、もっと優れた新しい統治スタイルが生まれる可能性もあります。しかしながら、現時点においては、今の民主主義体制が次善の策といえます。

ワークシートにある
「資料」の中で気になる
資料の番号を右上
に書こう。

また気になる理由を
書いてみよう。



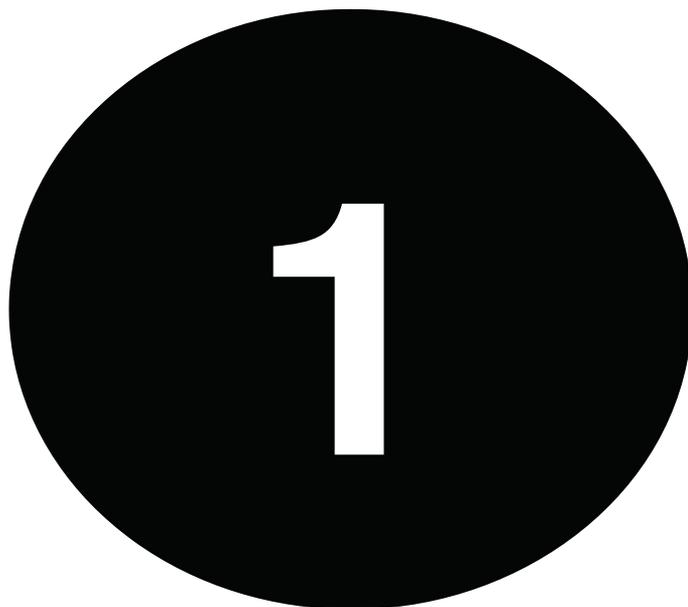
1.各班机一つ残して、全て後ろへ移動しよう(イスは残す)

2.プリントの右上に青字で、班分けがされています。その班のところへ椅子を持って移動しよう!

3.書いたプリントは持って移動しよう! 筆記用具は置いていこう!

それでは、
対話(P4C)をやってみよう!

残り



分

**それでは、机を最初の位置に
戻しましょう。**

**「選挙」について
話してみても
いかがでしたか。**

**〇分間で振り返りの
ワークシートを
書いてみよう。**

P4C振り返りシート

●以下の項目を自身で評価(丸をつけよう)・反省してみましょう。

評価項目	評価		
	←悪い		良い→
①安心して話すことができましたか。	➡	➡	↗
②対話は深まりましたか。	➡	➡	↗

●今日、話し合ったこと、テーマに対する自分の考え、テーマに関係する自分のことなど書いてください。

**ありがとうございました！
【所属団体名】による出前授業
を終わります。**